

## 当院におけるメロペネムの使用量と緑膿菌感受性率に関する検討

### 1. 研究の対象

2014年1月から2018年12月の期間に入院中にメロペネムを投与された方。

### 2. 研究目的・方法

(1) 研究の背景及び目的

代表的な院内感染の起原菌のひとつに挙げられる緑膿菌による感染症に用いられるメロペネムの使用量と緑膿菌感受性率との関係性について自施設 1 日平均投与量(mDDD)を用いた自施設抗菌薬使用密度(mAUD)を用いて調査を行います。

(2) 予想される医学上の貢献及び意義

mAUDと緑膿菌感受性率の間には相関関係を認める結果が予想され、この結果よりmAUD値は緑膿菌の耐性化を抑制する有効な指標になると考えられます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目は投与人数、年齢、性別、メロペネムの総投与量・総投与日数・投与期間、緑膿菌感受性率、入院患者延べ日数、mDDD、mAUD、DDD、AUD、AUD/DOT、mAUD/DOTであり、年度別に集計・解析を行います。

### 4. 期間

承認日～2019年11月30日

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 薬剤師 小山千尋

-----以上